



甲南大学統合ニューロバイオロジー研究所
第4回公開シンポジウム



生き物らしさへの 統合的アプローチ

～若手研究者が解き明かす新たな生命現象～

2017年 1月 16日 (月) 13:00～16:00

会場 サイエンス・ラーニングcommons
甲南大学岡本キャンパス 北校舎7号館1階

参加無料
申込み不要

■ 線虫から探る温度応答の分子神経メカニズム

大西康平 (生物学専攻 修士課程)

宇治澤知代 (生命・機能科学専攻 博士後期課程、日本学術振興会特別研究員DC2)

■ ショウジョウバエにおける「生殖細胞らしさ」の成立の仕組み
～始原生殖細胞中における遺伝子発現活性化機構の解析～

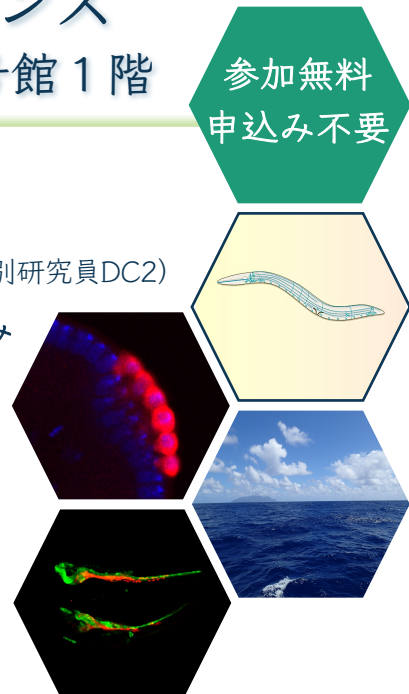
中村翔一 (生物学専攻 修士課程)

■ 真核微生物ラビリンチュラ類の珪藻からの栄養摂取
～海洋の高次消費者のDHAは何に由来するのか～

浜本洋子 (生命・機能科学専攻 博士後期課程)

■ 生殖細胞の形成に重要なPiwiは、なぜホヤの脳で発現するのか

島井光太郎 (統合ニューロバイオロジー研究所 博士研究員)



主催 甲南大学 統合ニューロバイオロジー研究所 研究所HP : <http://www.konan-u.ac.jp/~neurobio>

共催 甲南大学理工学部・大学院自然科学研究科

問い合わせ 甲南大学フロンティア研究推進機構 ☎078-435-2754 ✉officefront@center.konan-u.ac.jp